

2025 年度

ニチキッズ元鳴尾保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の理念を具現化するために、子どもたちの「やりたい！」という動機を大切に保育を行った。また保育者も一緒に「おもいっきり」楽しんで取り組みながらも、子どもたちの「なんだろう？」「どうしたら良いのかな？」を引き出す言葉がけを意識した。それにより、幼児組では自ら考え主体的に行動する姿が見られるようになった。
子どもの発達援助	「人権」を意識し、保育者の押し付けではなく子どもの気持ちや個性を尊重した関わりを心掛けた。個別に配慮が必要な子については定期的に会議等でこまめな情報共有をすることで、個々の発達に合わせた丁寧な援助が行えた。
保護者に対する支援	送迎時の積極的な声掛けに加え、ドキュメンテーションの掲示等で園の活動を可視化し、楽しくわかりやすく伝えた。また行事を通しては、「結果」ではなく「プロセス」の価値をお伝えし、個々の成長を喜び合うことで信頼関係の構築に繋がった。
保育を支える組織的基盤	会議や園内研修による職員個々の実践の振り返りにより、定期的に自己評価を行うことで個々のスキルアップを図った。それにより全体の質の向上に繋がったが、次年度は個人の学びを全員で共有する機会を増やし、保育の質の標準化を図りたい。

総評
子ども主体の保育を意識した環境構成により、行事への取り組みにおいて特に幼児組に顕著な成長が見られた。これは日ごろから「自分たちで考えて行動する」経験を積み重ねた結果、行事を「自分たちの活動」として捉え、友達と協力する喜びを内面化した現れであると感じている。次年度も子どもの「なぜ？」「やってみたい」を日々の活動に拾い上げ、保育者の計画を優先するのではなく、子どもの興味関心に寄り添い柔軟に活動内容を変えていながら、ずっと「見守る」そして「待つ」保育を意識していきたい。そして集団の中での主体性や協調性を深められるようにしていきたい。